

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

H 2 4 豪 雪 へ の 取 り 組 み 結 果 に つ い て

～ 雪害対策の強化により鳥取道と直轄国道の交通を確保しました。～

今冬、鳥取県東部では昨冬を超える豪雪となり、鳥取気象台の鳥取観測所では昭和29年観測以降史上3番目の累計降雪量（346cm）を記録しました。

当事務所では、昨冬の年末年始の雪害を踏まえ、雪害対策の取り組みを更に強化、シーズン前には関係機関と連携した雪害訓練の実施、また、シーズン中には冬用タイヤ等装着指導の実施などの新たな取り組みを行ってきました。この結果、雪害による全面通行止めを防ぎ、鳥取道と直轄国道の交通を確保しました。

なお、今冬の主な雪害対策は、次のとおりです。

【雪害に対する主な対策】

- 1) 雪害対応の体制の確立及び強化
 - ・関係機関(県、市長、県警)と連携した通行止めシミュレーションの策定、現地確認。
 - ・関係機関と連携した雪害対応訓練の実施。
 - ・道路利用者に対しコンビニ、GS、大型店舗を通じて通行止め情報等の提供体制を構築。
 - ・スタック多発箇所へのCCTVの増設。 ※CCTV：道路状況を確認するためのテレビカメラ
 - ・CCTVの無い区間のコンビニ、GSからの情報収集の確立。
- 2) 冬用タイヤ等装着の啓発活動
 - ・冬用タイヤ等装着の広域的啓発活動。
 - ・ドライバーへの冬用タイヤ装着啓発チラシ配布の実施。
 - ・雪対応の実施状況の啓発パネル展示の実施。(県庁ロビー、事務所)
 - ・牽引した車両を運行する事業者に対し通知文書による啓発を実施。
- 3) 降雪中の雪害対策
 - ・スタック多発箇所への除雪ドーザー、滑り止め資材の配備。注意喚起する看板の設置。
 - ・スタック防止のための日光坂車線絞込の実施。
 - ・冬用タイヤ、タイヤチェーン装着指導を延べ10回実施。
 - ・除雪車41台にGPS携帯を搭載し、位置や情報収集。
 - ・除雪作業や通行の支障となるスタック車両の牽引移動実施。

また、スタック多発箇所の国道9号日光坂への融雪設備設置工事に着手するとともに、今冬の結果を踏まえ、新たなスタック多発箇所の対策や冬用タイヤ等装着指導の効率的実施の検討等を進め、来冬に向け更なる対応の強化を図っていきます。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435 (代表)

副所長(道路) 角田 真一

【担当】 道路管理第一課長 小池 健三

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>